

問1 サハラ砂漠以南のアフリカ諸国で進められた、米の増産を目的とする「アフリカ稲作振興のための共同体（CARD）」の取り組みとその成果について、正しい説明はどれですか。 (2020年 愛知公立入試 類似)

- |  |   |   |  |
|--|---|---|--|
| 1. 栽培面積の拡大や生産性の向上により、当初掲げていた増産目標を予定より前倒して達成した。 | 2. 技術的な指導が困難を極めたため、目標としていた生産量の達成は当初の予定より大幅に遅れた。 | 3. 単位面積あたりの収穫量は向上したが、砂漠化の影響で栽培面積が減少したため、総生産量は伸び悩んだ。 | 4. 米の生産量は増大したが、主食が小麦やトウモロコシから変化しなかったため、計画は途中で打ち切られた。 |
|--|---|---|--|

問2 アフリカ大陸の地図を確認すると、国境線が経線や緯線に沿った直線となっている箇所が多く見られます。このような国境線が引かれることになった歴史的な経緯として最も適切なものはどれですか。 (2020年 和歌山公立入試 類似)

- |  |  |   |   |
|--|--|---|---|
| 1. 19世紀後半以降、ヨーロッパの諸国が自国の都合で植民地の境界を決定したため | 2. アフリカ諸国が独立する際、民族や言語の分布を調査して公平に分割したため | 3. 砂漠や平原などの起伏の少ない地形が続くため、自然物を境界にすることができなかったため | 4. アフリカ大陸には大きな河川や山脈が存在しないため、測量技術を用いて人工的に引いたため |
|--|--|---|---|

問3 アフリカ大陸の北端や南端に分布する地中海性気候の地域では、伝統的な住居に「厚い壁」や「平らな屋根」という特徴が見られます。このような住居の工夫がなされている理由として、気候の特色に基づき正しく説明しているものはどれですか。 (2016年 群馬県公立入試 類似)

- |   |  |  |   |
|---|--|--|---|
| 1. 夏に雨が少なく乾燥するため、強い日差しを遮り室温の上昇を抑えるために壁を厚くし、雨を流す必要がないため屋根を平らにしている。 | 2. 一年を通して高温多湿であるため、通気性を確保するために窓を大きく作り、雨を効率よく流すために屋根の傾斜を急にしている。 | 3. わずかな降雨を効率よく集めるために屋根を平らにし、冬の厳しい寒さから身を守るために窓を小さくして壁を厚くしている。 | 4. 常に強い風が吹き抜けるため、風の影響を受けにくい平らな屋根にし、砂嵐が室内に入るのを防ぐために壁を厚くしている。 |
|---|--|--|---|

問4 ナイジェリアやベネズエラのように、輸出額の7割以上を特定の資源が占め、第2位にも液化天然ガスなどのエネルギー資源が続くような経済構造を持つ国々の特徴と課題について述べた文として、正しいものはどれですか。 (2019年 神奈川県公立入試 類似)

- |   |  |  |  |
|---|--|--|--|
| 1. 原油の輸出に依存しているため、国際的な価格変動が国家財政に大きな影響を及ぼしやすい。 | 2. 銅の輸出に依存しているため、先進国の電子部品需要の減少によって景気が後退しやすい。 | 3. 鉄鉱石の輸出に依存しているため、主要な輸出先である中国の不動産不況の影響を強く受ける。 | 4. 石炭の輸出に依存しているため、世界的な脱炭素化の動きが経済的なリスクとなっている。 |
|---|--|--|--|

問5 アフリカのタンザニアにあるダルエスサラームの気候統計では、気温は通年で約25度前後と高い一方、降水量は3月から5月頃に集中し、6月から9月頃にかけては極端に少なくなります。このような気候的特徴を持つ地域で見られる景観や人々の生活について、最も適切な説明はどれですか。 (2026年 埼玉公立入試 類似)

- |  |   |   |  |
|--|---|---|--|
| 1. 一年中強い日差しとスコールがあり、常緑広葉樹が密集する密林が広がっている。 | 2. 雨季に成長する丈の長い草原を利用して、牛などの家畜を飼う牧畜が行われている。 | 3. 夏は高温乾燥、冬は比較的降水があるため、オリーブやぶどうの栽培が盛んである。 | 4. 年間降水量が極めて少なく、わずかな水が得られるオアシスの周辺でのみ農業が行われる。 |
|--|---|---|--|

問6 アフリカの国々に代表される発展途上国において、総人口に占める若年層の人口割合が非常に高くなる理由として、最も適切な背景はどれですか。 (2022年 山形公立入試 類似)

- |   |  |  |   |
|---|--|--|---|
| 1. 衛生環境の改善等で乳幼児の死亡率が下がった一方で、出生率が依然として高い状態にあるため。 | 2. 高度な経済成長に伴い、近隣諸国から労働力として多くの子供を受け入れているため。 | 3. 高齢者の多くがより高度な医療を求めて、先進国へ一斉に移住しているため。 | 4. 急激な工業化を推進するために、政府が若年労働者の育成のみを優先する人口政策をとっているため。 |
|---|--|--|---|

問7 世界地図において、アフリカ大陸の北側に広範囲にわたって分布するサハラ砂漠周辺の気候的特徴について述べた文として、最も適切なものは次のうちから選びなさい。 (2018年 沖縄公立入試 類似)

- |  |   |                                      |                                      |
|--|---|--------------------------------------|--------------------------------------|
| 1. 降水量が極めて少なく、蒸発量が降水量を上回るため、乾燥帯に分類される。 | 2. 赤道に近い低緯度地域であるため、一年を通じて高温多湿な熱帯雨林が広がる。 | 3. 季節風（モンスーン）の影響を強く受け、夏に集中的な降水が見られる。 | 4. 高緯度の大陸東岸に位置するため、冬の寒さが厳しく針葉樹林が広がる。 |
|--|---|--------------------------------------|--------------------------------------|

問8 アフリカ大陸の南端に位置する国で実施されていた人種隔離政策（アパルトヘイト）が、1990年代前半に廃止された後の社会的な動きについて説明した文として、最も適切なものはどれですか。 (2022年 熊本県公立入試 類似)

- |   |   |   |   |
|---|---|---|---|
| 1. ネルソン・マンデラが同国初の黒人大統領に就任し、人種間の和解と共生が進められた。 | 2. 白人による政治的支配を継続するため、周辺諸国との国境を封鎖して鎖国体制をとった。 | 3. 人種差別を禁止する代わりに、特定の農産物のみを栽培するモノカルチャー経済を導入した。 | 4. 欧州連合（EU）に加盟し、ヨーロッパ諸国との経済的な統合を最優先する政策に転換した。 |
|---|---|---|---|

問9 かつての植民地支配を受けた地域では、特定の農作物を大規模に栽培し、輸出に依存する産業構造が見られます。このような経済状況の背景と特徴について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2020年 滋賀公立入試 類似)

- |   |   |   |  |
|---|---|---|--|
| 1. 宗主国での消費や世界市場への輸出を目的として、コーヒーやカカオなどの商品作物を中心に生産する体制が築かれた。 | 2. 現地の自給自足を最優先にするため、主食となる穀物と輸出用の作物をバランスよく組み合わせる体制が築かれた。 | 3. 植民地支配から独立した後、急速な工業化を推し進めるために農地をすべて廃止し、製造業へ特化する政策がとられた。 | 4. 古くから伝わる伝統的な農法を守るため、外部からの新しい作物や技術を一切取り入れずに生産を続ける体制が築かれた。 |
|---|---|---|--|

問10 特定の天然資源や農産物の輸出に依存するモノカルチャー経済の国において、資源の国際価格の変動が国家経済にどのような影響を与えているかを分析しようとしています。この分析を行うために、照らし合わせる資料の組み合わせとして最も適切なものはどれですか。 (2017年 香川公立入試 類似)

- |                                    |                              |                                 |                                      |
|------------------------------------|------------------------------|---------------------------------|--------------------------------------|
| 1. その国の総輸出額の推移と、特定の資源における産品別輸出額の推移 | 2. その国の総輸出額と総輸入額の差である貿易収支の推移 | 3. その国における消費者物価指数の推移と、資源の生産量の推移 | 4. その国の国内総生産（GDP）の推移と、主要な輸入相手国の経済成長率 |
|------------------------------------|------------------------------|---------------------------------|--------------------------------------|

問11 日本が主催するTICAD（アフリカ開発会議）を通じた近年の日本とアフリカの関係について、アフリカの人口が急増し日本の人口が減少するという人口動態の変化や、2015年から2021年にかけて現地における日本企業の拠点数が増加傾向にあるという状況を踏まえた説明として、最も適切なものはどれですか。 (2025年 宮城県公立入試 類似)

- |   |   |   |   |
|---|---|---|---|
| 1. アフリカの将来的な市場拡大を見据え、政府による一方的な援助から、民間企業の参画を促す対等なビジネスパートナーシップへと転換を図っている。 | 2. アフリカの人口急増による食糧不足を懸念し、日本政府が主導権を握って現地の農業を完全に管理下に置く政策を強化している。 | 3. 日本国内の市場縮小を補うため、現地の自助努力を考慮せず、日本の公的資金のみを投入してインフラを独占する方針をとっている。 | 4. 日本企業の拠点数が減少傾向にあることを背景に、民間企業の撤退を促し、政府による開発援助のみに限定した関係を構築しようとしている。 |
|---|---|---|---|

## 答え合わせ・解説

問1	答え 1 栽培面積の拡大や生産性の向上により、当初掲げていた増産目標を予定より前倒しで達成した。	アフリカの食料安全保障を強化するために進められたこの計画は、国際的な支援と現地での栽培面積の拡大が功を奏し、当初設定していた増産目標を予定よりも早い段階で達成することができました。これはサハラ砂漠以南の地域における農業開発の成功例として知られており、単なる収穫率の改善にとどまらず、耕作地の確保が大きな役割を果たした点が特徴です。
問2	答え 1 19世紀後半以降、ヨーロッパの諸国が自国の都合で植民地の境界を決定したため	19世紀後半、ヨーロッパの列強諸国はアフリカを植民地化する際、現地の民族分布や文化、伝統的な勢力範囲を無視して、地図上の経線や緯線を利用して便宜的に境界線を引きました。この人為的な国境線は、独立後も引き継がれたため、一つの国の中に複数の民族が混在したり、一つの民族が複数の国に分断されたりすることになり、後の民族紛争の原因の一つとなりました。
問3	答え 1 夏に雨が少なく乾燥するため、強い日差しを遮り室温の上昇を抑えるために壁を厚くし、雨を流す必要がないため屋根を平らにしている。	地中海性気候は、温帯の中でも「夏に乾燥し、冬に一定の降水がある」という非常に特徴的な気候区です。アフリカ大陸の北端（地中海沿岸）や南端に見られる伝統的な住居は、この気候に適応しています。強い日差しを遮断して室内の温度上昇を防ぐために壁を厚くし、窓を小さくする工夫がなされています。また、夏に雨がほとんど降らないため、日本の伝統的な住居のように雨を流すための傾斜をつける必要がなく、屋根が平らになっています。
問4	答え 1 原油の輸出に依存しているため、国際的な価格変動が国家財政に大きな影響を及ぼしやすい。	特定の農産物や鉱産資源の輸出に頼る経済をモノカルチャー経済と呼びます。ナイジェリアやベネズエラは原油への依存度が極めて高く、世界情勢によって原油価格が下落すると、外貨収入が激減し国内経済や社会情勢が不安定になるというリスクを抱えています。
問5	答え 2 雨季に成長する丈の長い草原を利用して、牛などの家畜を飼う牧畜が行われている。	タンザニアで見られるサバナ気候では、雨季に成長した草原が野生動物や家畜の貴重な餌となります。そのため、この気候区では広大な草原を利用した牧畜や、野生動物を対象とした観光業が盛んです。選択肢にある密林は熱帯雨林気候、オリーブ栽培は地中海性気候、オアシス農業は砂漠気候の特徴です。
問6	答え 1 衛生環境の改善等で乳幼児の死亡率が下がった一方で、出生率が依然として高い状態にあるため。	発展途上国では、公衆衛生の向上や医療技術の普及によって乳幼児の死亡率は低下傾向にありますが、社会的な慣習や労働力の確保などの理由から出生率は依然として高い水準にあります。この「多産少死」の状態が続くことで、人口ピラミッドの底辺が広い形状（富士山型）になり、総人口に占める若年層の割合が大きくなります。
問7	答え 1 降水量が極めて少なく、蒸発量が降水量を上回るため、乾燥帯に分類される。	サハラ砂漠が位置するアフリカ大陸北端から北回帰線付近にかけての地域は、一年中乾燥した空気が降りてくる亜熱帯高圧帯の影響を強く受けます。そのため、年間降水量が極端に少なく、樹木の生育が困難な乾燥帯（砂漠気候）となっています。
問8	答え 1 ネルソン・マンデラが同国初の黒人大統領に就任し、人種間の和解と共生が進められた。	アパルトヘイトの廃止後、南アフリカ共和国では全人種が参加する初めての総選挙が実施されました。その結果、長年反アパルトヘイト運動に取り組み投獄されていたネルソン・マンデラ氏が大統領に選ばれ、異なる人種が共生する「虹の国」を目指した国づくりが始まりました。これにより、国際社会への復帰も果たしました。
問9	答え 1 宗主国での消費や世界市場への輸出を目的として、コーヒーやカカオなどの商品作物を中心に生産する体制が築かれた。	植民地時代に、支配国である宗主国の需要を満たすために特定の農作物を大量に生産する仕組みが作られました。これを「モノカルチャー経済」と呼びます。独立後もこの構造から脱却できず、国際価格の変動が国の経済に大きな影響を与えるという課題を抱えている地域が多くあります。
問10	答え 1 その国の総輸出額の推移と、特定の資源における製品別輸出額の推移	モノカルチャー経済の国では、特定の製品の輸出が国家の収益の大部分を占めています。国際価格の変動が経済全体に及ぼす影響を正確に把握するには、国全体の輸出額（総輸出額）が、特定の資源の輸出額（製品別輸出額）の変化とどのように連動しているかを確認する必要があります。これにより、その資源への依存度や価格変動の直接的な影響を分析することが可能になります。
問11	答え 1 アフリカの将来的な市場拡大を見据え、政府による一方的な援助から、民間企業の参画を促す対等なビジネスパートナーシップへと転換を図っている。	アフリカは人口の急増により、将来的な「市場」としての重要性が高まっています。これを受け、日本はTICADを通じて、これまでの政府開発援助（ODA）中心の支援から、民間企業の参画による経済活性化へと重点を移しています。その際、アフリカ諸国が自ら発展を目指す「自助努力（オーナーシップ）」を尊重し、対等なパートナーとして共に成長する関係を目指していることが特徴です。